

平成 21 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 信  
 ( J A S D A Q ・ コード 7 8 9 5 )  
 問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 永田 修  
 役職・氏名  
 電 話 0 4 8 - 5 4 0 - 2 6 2 4

特別損失の計上および平成 21 年 12 月期通期  
 (連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成 21 年 12 月期決算において、下記の通り特別損失が発生致しますので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 8 月 28 日に公表致しました平成 21 年 12 月期(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)の業績予想(連結・個別)を下記の通り修正いたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

連結孫会社株式売却損

当社が、本日付で公表致しました「孫会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」にてお知らせの通り、昭和 60 年から、当社グループの北米地域におけるプラスチック製食品包装容器の製造及び販売を担って参りました現地法人 C&M Fine Pack, Inc.(以下「C&M Fine Pack」)については、昨今の北米地域における経済状況等を考慮し、国内市場への経営資源の集中をはかるため、当社が保有する同社株式(発行済株式の 80%)の全てを、当社グループ外企業へ売却することと致しました。これにより連結財務諸表上約 2.3 億円の株式売却損の発生が見込まれます。

2. 業績予想の修正

(1)平成 21 年 12 月期連結 通期業績予想の修正(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 21 年 8 月 28 日発表)	76,000	3,000	2,100	800
今 回 予 想 ( B )	73,000	2,800	1,900	3,200
増 減 額 ( B - A )	3,000	200	200	2,400
増 減 率 ( % )	3.9%	6.7%	9.5%	-
前 期 (平成 20 年 12 月期)実績	84,931	2,259	3,652	6,965

(2)平成 21 年 12 月期個別 通期業績予想の修正(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 21 年 8 月 28 日発表)	63,000	2,600	1,900	800
今 回 予 想 ( B )	63,000	2,600	1,900	5,600
増 減 額 ( B - A )	-	-	-	4,800
増 減 率 ( % )	-	-	-	-
前 期 (平成 20 年 12 月期)実績	68,594	2,088	2,788	9,388

### 3. 修正の理由

#### 連結

本日付で公表致しました「孫会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」にてお知らせの通り、平成 21 年 9 月 30 日をもって、孫会社である C&M Fine Pack が当社の連結対象外ならびに持分法適用対象外となることにより、平成 21 年 8 月 28 日公表の業績予想に含まれておりました C&M Fine Pack の第 4 四半期(平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)業績予想分、売上高 30 億円・営業利益および経常利益 2 億円・当期純利益 1 億円がそれぞれ減少する見込みです。また、上述しました通り、同社株式の売却によって連結上約 23 億円の株式売却損が発生するため、通期の連結当期純利益は 8 月 28 日に公表いたしました純損失 8 億円から 24 億円悪化し、純損失 32 億円となる見込です。

#### 個別

C&M Fine Pack 株式を直接保有しております当社 100%子会社 Central Packaging Corp.(米国デラウェア州)の純資産は、C&M Fine Pack 株式売却後に、約 19 億円程度になると予想され、当社における Central Packaging Corp. の株式簿価 67 億円とに著しい差異(48 億円)が生じます。今後、Central Packaging Corp.の純資産が、現在の簿価(67 億円)まで回復する可能性は極めて低いと予測されることから、個別財務諸表上、48 億円の関係会社株式評価損を計上する見込です。これにより、個別の通期当期純利益は 8 月 28 日に公表いたしました 8 億円の純損失から 48 億円悪化し、56 億円の純損失となる見込です。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上